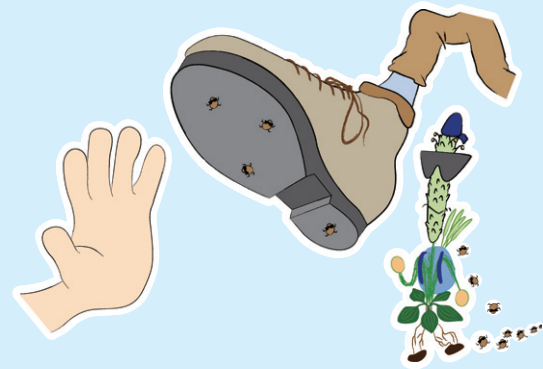


環白山保護利用管理協会 設立15周年記念誌



特定非営利活動法人環白山保護利用管理協会
公認キャラクター



環白山保護利用協会は、類い稀な自然、景観、文化に恵まれた環白山地域の健全な保全と、それらと調和を図りながら、持続可能な希望と誇りの持てる、地域の振興を図っていくため、産官学民や行政界の枠を越えて、環白山地域の様々な機関や組織が連携協働し、調査研究や事業等を継続的に実施することで、環白山地域が一体となって地域を創造し、自立した環白山地域としての基盤確立と未来への継承を目的として2007(平成19)年1月に設立しました。2017(平成29)年3月には特定非営利活動(NPO)法人として移行設立しました。



石川県羽咋市からの白山



富山県高岡市からの白山



福井県勝山市からの白山



岐阜県高山市からの白山

表紙写真提供：曾我隆行

特定非営利活動法人 環白山保護利用管理協会

発行 2022(令和4)年11月

特定非営利活動法人 環白山保護利用管理協会



設立15周年に寄せて

理事長 曾我隆行

NPO法人環白山保護利用管理協会は、今年設立15周年を迎えることができました。白山周辺の6市1村の多種多様な関係者が、県の壁を越えて「白山は一つ」という共通の理念のもと集結するという、画期的なものでした。この間、白山に直接関係する、登山道整備、外来植物除去事業等他、国立公園50周年、白山開山1300年事業等にも積極的に関わってきました。今後とも会員一同、より良い白山を目指して、関係各位の皆様のご協力のもと、活動していく所存ですので宜しくお願い申し上げます。



協会発足15周年に寄せて

名誉理事長 深田森太郎

この度は本協会発足15周年を心からお祝い申し上げます。

私は縁あって初代会長を務めさせていただきました。

会員各位のご協力と行政のご支援を頂き、有能な歴代事務局スタッフに支えられて協会の基礎固めを進めることが出来ました。

白山の貴重な観光資源を護り活かしていく未来志向型の活動が今まさに求められております。自然保護と経済活動のバランスを求めて当協会への期待はますます高まっていくでしょう。私も一会員として微力をささげる決意です。

協会概要

団体名	特定非営利活動法人 環白山保護利用管理協会
所在地	〒920-2121 石川県白山市鶴来本町4丁目5番地3号
電話番号	076-273-2822
FAX番号	076-259-2614
理事長	曾我隆行
設立日	2017(平成29)年3月17日
資本金	0円
事務局	2名(非常勤)
業務内容	自主事業(地域活性化PR事業・外来植物除去作業・避難小屋等施設維持管理改善事業他) 受託事業(外来植物除去事業・外来植物侵入防止対策事業・登山道等施設維持管理事業・登山者カウンター業務・美化事業・北部登山道管理業務・他)
関係団体	白山二県合同山岳遭難防止対策連絡会議、白山ユネスコエコパーク協議会、白山火山防災協議会、地域連絡会、石川県白山登山交通対策協議会他
取引先	環境省、石川県他
取引銀行	はくさん(旧鶴来)信用金庫白峰支店
その他	自然公園指導員数26名(石川県16名、福井県5名、岐阜県5名)
組織	正会員(35団体、1個人)、賛助会員(18団体、20個人) 特別会員11団体(石川県、福井県、岐阜県、富山県、白山市、勝山市、大野市、郡上市、高山市、南砺市、白川村) 顧問8団体(環境省中部地方環境事務所、国土交通省金沢河川国道事務所、林野庁石川森林管理署、林野庁飛騨森林管理署、白山比咩神社、平泉寺白山神社、長瀧白山神社、国連大学OUIK)
役員他	理事(11~20名)、監事(2名)、事務局長(1名)、事務局員(1名)

沿革

		白山自然保護官事務所 在任保護官
2006(平成18)年3月19日	「環白山保護利用管理協会設立準備委員会」設立	
2007(平成19)年1月28日	「環白山保護利用管理協会」設立 事務所を石川県白山市白峰ツ57乙「白山国立公園センター」内に設置	
第1期(2006(平成18)年度)	深田森太郎会長就任	加藤雅寛保護官
第2期(2007(平成19)年度)		管野康祐保護官
第3期(2008(平成20)年度)	企画運営委員会(通称:「チーム白山」)を設置	
第4期(2009(平成21)年度)		瀬川 涼保護官
第5期(2010(平成22)年度)	環境教育事業推進チーム(通称:「チームエコツアー」)の設置	
第6期(2011(平成23)年度)	事務所を石川県能美市和佐谷町200「道の駅しらやまさん」内に移転	
第7期(2012(平成24)年度)		
第8期(2013(平成25)年度)	事務所を石川県白山市鶴来本町4丁目5-3に移転	松木崇司保護官
第9期(2014(平成26)年度)		
第10期(2015(平成27)年度)	白山国立公園白山生態系維持回復事業の実施主体の認定	
第11期(2016(平成28)年度)	林 繁 会長就任	宮下央章保護官
2017(平成29)年3月16日	「特定非営利活動法人 環白山保護利用管理協会」移行設立に伴い「環白山保護利用管理協会」解散	

2017(平成29)年3月17日	「特定非営利活動法人 環白山保護利用管理協会」移行設立 公認ロゴマークを作成、公認キャラクターを認定	
第1期(2017(平成29)年度)	林 繁 理事長就任	
第2期(2018(平成30)年度)		
第3期(2019(令和1)年度)	曾我隆行理事長就任	迫 裕樹保護官
第4期(2020(令和2)年度)		
第5期(2021(令和3)年度)		
2021(令和3)年12月16日	自然公園法に基づく「公園管理団体」に指定(全国で6番目)	
第6期(2022(令和4)年度)	15周年記念行事実施	染谷祐太郎保護官

役員 (2022.5.24現在) 敬称略

名誉会長	深田 森太郎	NPO法人深田久弥と山の文化を愛する会	石川加賀
理事長	曾我 隆行	石徹白十三人衆	岐阜郡上
副理事長	平田 豊治	五箇山自然文化研究会	富山南砺
副理事長	國吉 一實	NPO法人小原ECOプロジェクト	福井勝山
副理事長	宮下 由美子	石川県自然解説員研究会	石川金沢
理事	金丸 和弘	合同会社輝け白山	石川白山
理事	山崎 太一朗	(株)山崎旅館	石川白山
理事	西山 喜治	中宮温泉旅館組合	石川白山
理事	稲葉 弘之	アルスコンサルタンツ(株)	石川金沢
理事	里見 実	(有)エルダーシステムコンサルタンツ	石川金沢
理事	宮腰 政男	オオバコの会	石川金沢
理事	万年 正彦	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)	石川金沢
理事	西村 浩昭	(一財)白川郷観光協会	岐阜白川
理事	山田 俊行	NPO法人白川郷自然共生フォーラム	岐阜白川
理事	永田 泰	(株)オフィス・イヌイ	福井勝山
理事	坂本 均	ノーム自然環境教育事務所	福井大野
監事	北村 彰浩	白山手取川ジオパーク推進協議会	石川白山
監事	谷中 眞弓	NPO法人深田久弥と山の文化を愛する会	石川加賀
事務局長	池内 裕		
事務局長補佐	島 由治		

活動内容

特定非営利活動法人 環白山保護利用管理協会 定款(事業)第5条より

- (1) 自然環境の保護と利用に関する **普及啓発**
- (2) 自然保護と利用に関する **諸団体との提携**
- (3) 自然環境の保全管理及び公園施設等の **管理運営受託事業**
- (4) 自然、文化の保全及び **エコツーリズム** を活用した地域振興のための調査・支援
- (5) その他この法人の目的を達成するために **必要な事業**

(1) 普及啓発



情報提供
2007.2.1 環白山通信創刊号

(1) 普及啓発



地域活性化PR
2017.8.19 いしかわ環境フェア

(1) 普及啓発



地域活性化PR
2014.2.7 白峰雪だるままつり

(1) 普及啓発



講演会
2016.5.25
「白山ユネスコエコパーク運営管理計画について」
白山ユネスコエコパーク協議会事務局長 西村一美氏

(1) 普及啓発



安全対策
白山二県合同山岳遭難
防止対策連絡会議、
白山火山防災協議会の
各団体に参画

(1) 普及啓発



外来植物除去作業
2021.6.27 イベント市ノ瀬

主な除去イベント実施場所

県	実施場所
石川県	室堂園地
	南竜ヶ馬場園地
	別当出合園地
	市ノ瀬園地
	甚ノ助避難小屋
	チブリ尾根コース
	梅の木台駐車場(ホワイトロード)
福井県	三ノ峰山頂
	三ノ峰避難小屋
	赤兎山避難小屋
岐阜県	銚子ヶ峰山頂
	神鳩ノ宮避難小屋
	石徹白大杉
	大倉山避難小屋
	大白川園地
	三方岩岳園地
富山県	白川郷展望台(ホワイトロード)
	大笠山避難小屋
	桂園地

環白山保護利用管理協会が行った外来植物対策事業

理事 稲葉弘之

(2) 諸団体との提携



地域連絡会
郡上市白鳥

(2) 諸団体との提携



白山ユネスコエコパーク地域づくり交流会
高山市荘川

(3) 管理運営受託事業



外来植物除去
オオキンケイギク除去 南砺市桂湖

(3) 管理運営受託事業



登山者カウンター管理業務
白川村三方岩岳登山口

(3) 管理運営受託事業



登山道管理業務
エントランス看板 郡上市白鳥

(3) 管理運営受託事業



北部登山道管理業務
草刈 加賀禅定道

(4) エコツーリズム



エコツーリズム
とち餅づくりツアー

(5) 必要な事業



環白山グッズ
日本手拭い

当協会が継続的に実施している「外来植物対策事業」は設立時からの中心的事業の一つです。当初は石川県白山自然保護センターの事業として石川県内で実施されていた活動でしたが、当協会が主催者に加わることで当協会の4県にまたがるネットワークを活用し、福井県、岐阜県、富山県に拡大した活動となったことは非常に重要なことと言えます。

現在では環境省が実施する白山生態系維持回復事業に係る専門委員会において本協会員が有識者として参加するなど、白山においても中心的な役割を担っています。また、これらの活動は全国の国立公園を含めても先進的な事例であり、大山(大山隠岐国立公園)や月山(磐梯朝日国立公園)など全国の国立公園の講師として呼ばれ、取り組みを紹介する機会にも恵まれました。

当協会が外来植物対策に携わって15年が経過しました。外来植物の対策は人間が自然を利用し続ける限り終わることはなく、今後も永続的に継続していくことが当協会の役割の一つと言えます。

【これまでの除去実績】

対策期間：平成19年～令和3年
のべ参加者数：6,190人
除去対象種：27種
総除去重量：7,126kg

主な種類の除去重量 (H19~R3)

種名	除去量(kg)
オオバコ	4,790.6
オオキンケイギク	1,550.3
エゾノギシギシ	258.5
シロツメクサ	114.6
スズメノカタビラ	76.7
外来タンポポ种群	61.1
オオハンゴンソウ	57.3
ヒメジョオン	36.1
オオアワガエリ	32.6
イタチハギ	32.0
その他17種類	116.9
合計	7,126.8

当協会の外来植物対策の取り組み

実施年度	対策内容
平成19年～現在	外来植物除去イベント実施(室堂・南竜) →主催者として当協会が加わる
平成19年～現在	登録ボランティアによる外来植物除去を開始(石川県側の登山道)
平成20年～現在	外来植物除去イベント実施箇所の増加(5ヶ所) →岐阜県、福井県においても実施
平成21年～現在	侵入防止対策(種子除去マット等設置)業務(環境省発注)の受注
平成22年～現在	各地のイベント等に出席し、パネル展、オオバコ茶試飲を実施
平成23年～27年	白山生態系維持回復事業による計画に基づいて当協会が実施主体の確認・認定を受ける(全国で初)
平成23年	外来植物対策普及啓発ポスターを作成し、公園関係者、施設に配布
平成23年～25年	新たな除去手法の開発、効果試験の実施(被覆、焼却、抜取)
平成24年	外来植物対策のイメージキャラクター「オオバコマン」誕生
平成24年～27年	外来植物対策インストラクター養成研修を開始
平成24年～現在	オオバコの会が発足し、各種イベントの運営スタッフとして活動開始
平成25年	外来植物対策シンポジウムの開催
平成25年～現在	白山室堂、南竜山荘、白山スーパー林道での種子除去マットの設置(4ヶ所)
平成26年～現在	外来植物除去業務(環境省発注)の受注
平成27年～令和2年	白山生態系維持回復事業による計画見直しに基づいて当協会が実施主体の確認・認定を受ける
平成21年～現在	侵入防止対策(種子除去マット等設置)業務(環境省発注)の受注
平成28年～現在	白山生態系維持回復事業での外来植物モニタリングマニュアルの策定。マニュアルに基づき調査が開始され、当協会が協力
令和3年～現在	白山生態系維持回復事業による計画見直しに基づいて当協会が実施主体の確認・認定を受ける